

大阪市立市岡東中学校 令和元年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】実施報告書
(補足説明資料)

1. 取組内容 (1) について

1-1. 取組を実施する必要性

本校では、生徒の豊かな感性を育てることを目的として、芸術鑑賞を毎年1度実施し、また、ゲストティーチャーを招くことを実施している。

1-2. 取組を実施することにより期待できる効果

上記に示したように、生徒の豊かな感性が育つことが期待できる。

1-3. 具体的な実施内容

7月9日(火曜日)、成蹊大学福岡亮治先生を講師に招き、科学講話を実施。

11月9日(土曜日)、土曜授業として芸術鑑賞を実施。今年度は劇「ヘレンケラー」。

1-4. 取組に対する達成状況 (A～D) 及びその評価理由

・取組に対する達成状況：B

・評価理由：

学校行事や芸術鑑賞等の体験を行うことができた。また、アンケートにおいて該当する質問に肯定的に回答した生徒の割合は1回目 86.7%、2回目 90.3% と、どちらも目標を上回ることができた。

以上の成果から、B評価とした。

2. 取組内容 (2) について

2-1. 取組を実施する必要性

教科の特性を活かし、よくわかる授業を積極的に行う。

ICTの活用やアクティブラーニングを実施するなどにより、生徒が主体的に学習する授業を展開する。

2-2. 取組を実施することにより期待できる効果

生徒が主体的に学習を行う環境を整えることにより、積極的に授業に参加することができ、学習効果の向上につながる。

2-3. 具体的な実施内容

全普通教室へ壁に固定のプロジェクターを導入。

2-4. 取組に対する達成状況 (A～D) 及びその評価理由

・取組に対する達成状況：B

・評価理由：

該当する質問に生徒アンケートで肯定的に回答した生徒の割合 1 回目 76.0%、2 回目 77.6%と目標を上回ることができた。

以上の成果から、B 評価とした。

3. 総論

3-1. 年度目標の達成状況、総評

本校の年度目標で、

○中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

3 年生：5 教科 101.4→102.6 (1.2 向上) で達成。3 教科 96.2→95.2 (1.0 低下)、で達成せず。

2 年生：90.6→100.4 (9.8 向上) で達成。

○中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。

3 年生：19.2→26.0 (6.8 増加) で達成せず。

2 年生：30.8→23.3 (7.5 減少) で達成。

○中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。

3 年生：27.4→30.1 (2.7 増加) で達成。

2 年生：16.7→27.4 (9.7 増加) で達成。

○校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させるについては、平成 30 年度 79.2%から令和元年度 83.8%へと増加し、達成できた。

学校園独自の年度目標

○校内調査において、「自分は毎日授業に集中することができている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にするについては、79.9%で達成できなかった

以上の結果から、年度目標に対する達成状況を「C」評価とした。

3-2. 学校協議会における意見

・本年度の学校の自己評価は概ね妥当である。

・校内調査から、昨年度以上に子どもたちの前向きな姿勢が感じることができた。

今後も引き続き、子どもたち一人ひとりにあった教育活動を推進してほしい。